

謹賀新年

謹んで新年のお慶びを申し上げ
併せてご家族皆様のご多幸をお祈り致します
平成27年 元旦

阿部敏雄(敏翁)

さてここ数年、年の初めに旧年の年次報告的なやや長文の賀状を纏めています、今回も引き続いて近況報告を纏めてみました。

取り留めのないものばかりですが、ご笑覧頂ければ幸いです。

本賀状は、私のホームページがOCNから「さくら」に変わり、サーバー容量が大幅にアップされた事を利用して、旧賀状で利用していた onedrive 掲載内容を直接サーバー内に取り込むことによりリンクの利便性を高めたもので、ウェブ年賀状(さくら版)としたものです。(2月11日公開)

I. 東芝材遊会



私も創立に参画した「東芝材遊会」*も創立以来20年が経過し、去る6月18日に創立20周年記念大会を川崎日航ホテルで開催しました。参加者の写真を上図にご覧に入れます。

*：東芝及びその関係会社で材料関係の技術を担当した人達のOB会。



そこで私は記念講演を行っております。
講演は、「忘れえぬ人々」と題して犬塚、妻木、西島、
大戸、蠣崎、村松、日吉各氏など
今は亡き諸先輩の思い出話が中心です。
その講演に用いたPowerPoint と 草稿、及び
講演を佐藤幹郎さんが撮影した動画は
上記赤下線をクリックすればご覧いただけます。

II. 日本のワイン

ここ数年来、東芝材遊会の有志の皆さんと「ワインを楽しむ会」を開催してきましたが、フランスワインを主体として、ボルドー・メドック4大シャトー(但しセカンド・ワイン)を飲み終わったところで一段落としました。(①)

今年に入っては私個人として、最近評価が高まって来たと言われる日本ワインの検討を始め(②)、またそれに基づいて「甲州ワインツアー」(同行者は東芝材遊会の加藤、中村両兄と古くからの友人である大屋大兄)を実行しております。(③) 尚、以上の状況は私のブログに掲載してあります。



ブログの URL は、

http://blog.goo.ne.jp/toshiou_goo/

①「第5回ワインを楽しむ会」2013年12月15日掲載

②「日本のワイン」2014年4月5日掲載

③「甲州ワインツアー2014」2014年5月24日掲載

①~③は赤枠をクリックする事により、直接ジャンプ可能です。以下同様)

左図は、ワインツアーにおいて、サントリー登美の丘ワイナリーでテイスティングしたワイン(白のみ)とマリアージュです。

III. 酒場放浪とカラオケ

東芝材遊会のカラオケ部会が2013年秋から始めている「酒場放浪」も5回続いている、この調子ではまだ続きそうなのでここでも紹介します。

これは、BS-TBSの人気番組である「吉田類の酒場放浪記」及び、その姉妹番組である「おんな酒場放浪記」で放映された酒場の中から、川崎周辺にある店を訪問し一杯飲んでから、我々のホームグラウンドである川崎・貝塚にある「メロデイハウス」でカラオケを歌う事を基本とするものです。

その開催状況も私のブログに掲載してあります。(④)

尚、このブログからは、訪問/又は訪問予定の酒場に関する放送の録画(OneDrive「公開」に掲載)に飛ぶことが出来る仕掛けになっています。

尚、OneDrive「公開」の URL は <http://sdrv.ms/1a27P9C> です。

④「カラオケ部会の酒場放浪」2014年8月13日掲載

その後、12月に忘年会を兼ねて JR 蒲田駅東口近くにある「さしみや五坪」を訪れました。

その時の写真は上記ブログに入れてないのでここでご覧に入れましょう。(右図)



また10月15日には東芝材遊会・例会の後、有志が日比谷から川崎に移動してカラオケ大会を開催しておりますが、その様子は佐藤幹郎さんが動画撮影し「熱唱の宴」と題したDVD(佐藤さんらしい細部にまで拘った力作です)に纏められています。

参加者全員の写真をご覧に入れます。



尚、私とママ(前列左から2人目)でデュエットした「浪速恋しぐれ」をそのDVDから抜き出し、上記赤下線をクリックすればご覧頂けるようにしました。

お見せするのが恥ずかしい様な代物ですが、私の元気さだけはお伝えできるのではないかと考えています。

IV. 珈琲「ゲイシャ」

9月中旬にスターバックスから一杯1980円(税別)で売り出され話題になった珈琲種「ゲイシャ」の話です。私はかねてからこの珈琲に興味を持ち(⑥)、去る5月に上記カラオケ会の3人と共に通の中では知られている珈琲屋「バツハ」(⑤)でこの珈琲を味わいました。(⑦)

独特な柑橘系の香りと上品な酸味を有し他に例を見ない珈琲でした。

また、当店で焙煎豆(100g 3040円と高価)を購入し、種々私なりの検討を行って居ります。

その辺のあたりもブログに掲載してあります。

- ⑤ 「珈琲屋バツハ(1)」2011年11月15日掲載
- ⑥ 「珈琲種ゲイシャ」2012年1月31日掲載
- ⑦ 「バツハ de ゲイシャ」2014年5月25日掲載
- ⑧ 「ゲイシャ」の検討(1)酸味 2014年6月2日掲載
- ⑨ 「ゲイシャ」の検討(2)ブレンド 2014年6月5日掲載

尚、スタバは、特別な店スターバックスリザーブ(全国で54店舗)でしか「ゲイシャ」のサービスはしていません、川崎にはありません。

10月の東芝材遊会・例会(日比谷で開催)のついでに目黒のリザーブ店で味わおうと思い前日電話をしてみたら、この珈琲は9月中旬発売とともに即日完売したそうで、今はどこにもないとの事でした。

日本人の物好き(私もその一員)の多さには驚かされた次第です。

V. (さくら版への追記 2月11日)

今年になってニカラグアのサンタマウラ農園のゲイシャがワイルド珈琲から発売されている事を発見しました。500g 2590円(税込)と通常のもの(例えばブラジルのブルボン種)の3倍以上の価格ですが、「バハ」の価格の1/5程度(昨年スターバックスから発売した豆も300g1万円とほぼ同価格)でこの程度ならお買い得かもしれないと思い500g購入してみたのです。

ワイルド珈琲によると、これはパナマのゲイシャ種を譲り受けたもので「30年前のブルーマウンテンにそっくりな風味と煎り豆の形状で、浅煎りで甘酸っぱさとマスカットのような風味がブルーマウンテンを超える美味しさです。」とあります。

購入した500gを使って種々検討を楽しみましたが、その様子はブログに掲載してあります。

⑩ニカラグア・サンタマウラのゲイシャ 2015年1月28日掲載

⑪酸味の焙煎度依存／「ゲイシャ」以外は？ 2015年2月11日掲載



アルミ箔ダンパー機能付き手回し網機

左図は、その検討に用いたアルミ箔ダンパー機能を付加した手回し式焙煎網機です。

ここでまた新発見をしています。